

木曾丸ごと夢づくり活動

取り組みに至る背景・事業の目的

木曾ユネスコ協会は、ユネスコ憲章の精神に基づき、教育・科学・文化の分野において、地域に根差した活動を通して、ユネスコ普及活動を行い、木曾地域の一体化と活性化のために世界遺産登録を目指すことを目的として、2003年に設立された。木曾地域の小中学校での説明会や、高校生ボランティア体験活動、全国ユネスコ子供キャンプなどを通して、ユネスコ普及活動を実施してきた。

木曾は65歳以上が人口の30%を超えて高齢化が進み、活力の低下が懸念されるが、この「木曾丸ごと夢づくり活動」を通して、若い世代に夢を与え、一体化・活性化をもたらすとともに、木曾の自然と歴史的文化遺産の保存の重要性について、共通の理解・認識を持つように働きかけ、木曾のブランド化につなげていくことを目指す。

事業内容

- 御嶽山の史跡整備と史跡めぐりの普及活動
 - ・ 百間滝への山道整備
 - ・ 38史跡巡りの仕組みづくり
- 木曾山の再生 ユネスコの森の植樹
木祖村菅のユネスコの森におけるキハダの植樹
- 御嶽山の登山道整備
黒沢口と王滝口の登山道の補修
- 木曾11宿と御嶽山麓を灯す氷と雪の灯籠祭り
「木曾路氷雪の灯祭り」を木曾15か所で開催



事業効果

- 地域の一体化・活性化 イベント4回実施
- 「木曾路氷雪の灯祭り」による観光客の増加
- 「御嶽山三十八史跡巡り」説明会 約140名の参加者
- 「御嶽山三十八史跡巡り」による観光客の増加、リピーター・宿泊客の増加（21年度以降）

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

「木曾路をつなぐ氷雪の灯祭り」は、開催準備の中で、一部の地区で直前まで体制作りが進んでいなかったが、地区の協力を得て何とか開催にこぎつけることができた。

「御嶽山三十八史跡巡り」の朱印帳に入れる各史跡の説明文について、由来が不明な史跡の調査に時間がかかり、制作に1か月の予定が7か月もかかってしまった。

活動が報道されることにより、木曾が活気ある地域だという印象を与える効果に期待して、報道機関への働きかけを積極的に行った結果、多くの媒体を通じて活動をPRすることができた。

史跡巡りの仕組みが完成したので、持続的な活動になるように、地元の人たちによる連絡会を結成した。史跡巡りの認知度を上げ、史跡巡りに訪れる人をいかに増やすかが今後の課題である。

【選定のポイント】

御嶽山周辺に点在する史跡やそれにまつわる史実・伝承を掘り起こし、「史跡巡り」という仕組みを作り上げてインセンティブを高めたほか、御嶽山の山道整備に力を注ぐなど、観光資源の開発や木曾のイメージアップに寄与した。

団体名	特定非営利活動法人木曾ユネスコ協会（塩尻市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	理事長 井原正登 電話 0264-34-3830	事業費	6,123,708円
ホームページ	http://pws.prserv.net/kiso/	支援金額	5,886,000円
メールアドレス	kiso.unesco@attglobal.net		